

署名のお礼

2010. 6. 15 狛江みずほ幼稚園

このたびは新園舎建築に伴う、北側道路の1m歩道の工事方法につきまして、たくさんの署名をいただき、まことにありがとうございます。ありがとうございました。

第一次提出分として、昨日14日、1995名の方の署名を狛江市長に提出してきました。以下に、署名簿に添付した表紙文を載せておきます。

皆様の署名をもとに、こどもたちの安全な通園路確保のため、狛江市と粘り強く交渉していきます。

このことに関する意見は、狛江市都市整備課までお願いします。

狛江市都市整備課（担当、紺矢（こんや）課長）

TEL 03-3430-1111 内(2545)

FAX 03-3430-6870

E-mail:toshiseik@city.komae.lg.jp



2010. 6. 14

狛江市長 矢野裕殿

署名代表人

学校法人秋元学園 狛江みずほ幼稚園

園長 秋元幸生



署名簿の提出 (1995名)

当園は現在新園舎を建築中ですが(2009.11着工、2010.8完成予定)、建築に先立って4回の調整会が行われ、結論として、狛江市まちづくり委員会から「北側道路に接する幼稚園敷地を、1m分、歩道状空地として公に開放すべし」との見解書をいただいております(2009.10.30付け、図1参照)。

いよいよその外溝工事を準備するところですが、都市整備課より、道路とフラットな形の歩道に出来ないかという打診を受けております(図2参照)。幼稚園としては園児の通園路であり、歩道という性格上、安全第一を優先すると、現在存在している10cm高のL型側溝をそのまま使用して、段差のある歩道にしたいと考えております(図3参照)。

調整会後のまちづくり委員会においても、次のようなやりとりがあります。(狛江市まちづくり委員会議事録要旨(平成21年11月15日)より抜粋。以下で「委員長」とは、大方潤一郎東大教授、「事務局」とは狛江市都市整備課を指す。)

委員長 : 幼稚園の北側道路の部分の設計はまとまったか。

事務局 : その点もまだまとまっていない。5mの作り方だが、市としても公開空地というか、幼稚園の土地であるので、境界の区分を明確にしたいというところで、今あるL型をそのまま残して、1mの歩道状の部分は一段高い形でお願いしたいと考えていたが、近隣住民の方は、フラットにしてほしいということを言われていて、その点を今幼稚園と調整しているところである。

委員長 : 可能であればフラットにしてもよいとは思いますが、フラットにする必要はないと思う。

事務局 : 歩行者の安全を考えると一段高い方が安全ではないかと考えている。住民側はあくまでも中心線から3mセットバックという観点からお考えになっているので、どうしてもフラットにしてほしいということだと思う。

委員長 : 歩行者の安全とはおっしゃっているが、車の通行のことも言っているのだろう。

このように、歩行者の安全を考えると段差のある形が望ましいというのが、市、幼稚園、まちづくり委員会委員長の共通した意見です。今回の見解書は、車を通すために道路を広げるという趣旨ではありません。自分の敷地を自分の費用で工事して開放し、その結果自分の幼稚園に通う園児を危険にさらすようなことになる工事は、到底受け入れられません。

幼稚園は学校教育法という学校であり、周囲が通学路であるという特殊性を考えれば、なおさらのことです。都市整備課の考えが理解できません。都市整備課長は「住民が。。。」ということを再三言われていますが、当園に通園する保護者も立派な住民です。当園の保護者の意見を軽んじられている節があるので、今回保護者の署名をもって要望する次第です。(都市整備課は、ごく一部の住民からはヒアリングされたようですが、当園の保護者からヒアリングしたという話は聞いておりません。保護者の公聴会の申し出もしましたが、拒否されました。公平な立場から住民の意見を聞くべき自治体の態度としては、何かの偏見を感じます。)

弱者である子どもたちの交通安全を切に願う、今回署名された多くの方の思いを無にされることがありませんよう、ここにお願い申し上げます。事故が起きてからでは遅いです。

